

○ 土地改良事業等請負工事標準歩掛（昭和58年2月28日58構改D第148号農林水産省構造改善局長通知）一部改正新旧対照表【正誤表】

（下線部は改正部分）

正

6. 河川・水路工

①～③ [略]

④ 消波工

1.～3. [略]

4. ブロック製作・据付工

4-1 [略]

4-2 機種の選定

4-2-1 製作・横取り機械の選定

ブロック製作から横取りまでに使用するクレーンの機械・規格は、次表を標準とする。

表4.2 機種選定の選定

ブロック実質量	機械名	規格	備考
11.0tを超え50.0t以下	ラフテレーンクレーン	排出ガス対策型低騒音型 (第1次基準値) 油圧伸縮ジブ型25t吊	型枠工、コンクリート工 に使用
	クローラクレーン	<u>排出ガス対策型</u> <u>(第1次基準値)</u> 油圧駆動式ウインチ・ラチ スジブ型 低騒音型100t吊	横取りに使用

(注) [略]

4-2-2 作業船の選定

ブロック積込、運搬、据付に使用する作業船の機械・規格は、次表を標準とする。

表4.3 クレーン付台船・起重機船と引船の選定

機械名	規格		単位	数量						
				ブロック実質量						
	吊能力	積載質量		4.5t以下	4.5tを越え 7.5t以下	7.5tを越え 12.5t以下	12.5tを越え 22.0t以下	22.0tを越え 31.0t以下	31.0tを越え 37.5t以下	37.5tを越え 50.0t以下
クレーン付台船	45~50t	500t	台	1						
	80t	700t	〃		1					
	100t	1,000t	〃			1		1		
起重機船	100t	1,000t	〃				1	1		
	120t	1,000t	〃					1		
	150t	1,000t	〃						1	
引船	鋼製D450PS型35GT		〃	1	1					
	鋼製D600PS型50GT		〃			1	1			
	鋼製D700PS型60GT		〃			1		1	1	1

(注) [略]

4-3 [略]

P195

P196

誤

6. 河川・水路工

①～③ [略]

④ 消波工

1.～3. [略]

4. ブロック製作・据付工

4-1 [略]

4-2 機種の選定

4-2-1 製作・横取り機械の選定

ブロック製作から横取りまでに使用するクレーンの機械・規格は、次表を標準とする。

表4.2 機種選定の選定

ブロック実質量	機械名	規格	備考
11.0tを超え50.0t以下	ラフテレーンクレーン	排出ガス対策型低騒音型 (第1次基準値) 油圧伸縮ジブ型25t吊	型枠工、コンクリート工 に使用
	クローラクレーン	<u>[新設]</u> 油圧駆動式ウインチ・ラチ スジブ型低騒音型100t吊	横取りに使用

(注) [略]

4-2-2 作業船の選定

ブロック積込、運搬、据付に使用する作業船の機械・規格は、次表を標準とする。

表4.3 クレーン付台船・起重機船と引船の選定

機械名	規格		単位	数量						
				ブロック実質量						
	吊能力	積載質量		4.5t以下	4.5tを越え 7.5t以下	7.5tを越え 12.5t以下	12.5tを越え 22.0t以下	22.0tを越え 31.0t以下	31.0tを越え 37.5t以下	37.5tを越え 50.0t以下
クレーン付台船	40~50t	500t	台	1						
	80t	700t	〃		1					
	100t	1,000t	〃			1		1		
起重機船	100t	1,000t	〃				1	1		
	120t	1,000t	〃					1		
	150t	1,000t	〃						1	
引船	鋼製D450PS型35GT		〃	1	1					
	鋼製D600PS型50GT		〃			1	1			
	鋼製D700PS型60GT		〃			1		1	1	1

(注) [略]

4-3 [略]

P 1 9 7

4-4 製作

4-4-1 鉄筋工

鉄筋工は、「標準歩掛 17. 市場単価①鉄筋工（太径鉄筋を含む）」による。

4-4-2 型枠工

型枠の賃料は別途計上する。

4-4-3～4-4-4 [略]

4-5 横取り

4-5-1 横取り歩掛

ブロックの横取りの作業に関する日当り施工量は、次表を標準とする。

表 4. 10 日当り施工量 (個/日)

ブロック実質量	11t を超え 25t 以下	25t を超え 50t 以下
横取り Qc1	40	39

(1) [略]

4-5-2 [略]

P 1 9 8

4-6 積込・据付

4-6-1 [略]

4-6-2 作業船の編成人員

各作業船の編成人員は、次表を標準とする。

表 4. 14 クレーン付台船及び起重機船編成人員 (人)

高級船員	普通船員
1	2

表 4. 15 引船編成人員 (人) [略]

表 4. 16 潜水士編成人員 (人) [略]

4-6-3 諸雑費

諸雑費は、ブロックの積込・据付作業に必要なワイヤーロープの損料等の費用であり、労務費の合計額に次表の率を乗じた金額を計上する。

表 4. 17 諸雑费率 (%) [略]

4-6-4 [略]

5. [略]

P 2 0 0

6. 単価表

(1) 捨石材料 1 m³ 当り単価表

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
捨 石		m ³		表 3. 4
計				

4-4 製作

4-4-1 鉄筋工

鉄筋工は、鉄筋（連結用フック含む。）の加工・組立費用及び材料費であり、「標準歩掛 17. 市場単価①鉄筋工（太径鉄筋を含む）」による。

4-4-2 型枠工

型枠は、鋼製及びFRP製型枠使用を標準とし、賃料とする。木製型枠使用の場合は、別途考慮する。

4-4-3～4-4-4 [略]

4-5 横取り

4-5-1 横取り歩掛

ブロックの横取りの作業に関する日当り施工歩掛は、次表を標準とする。

表 4. 10 日当り施工歩掛 (個/日)

ブロック実質量	11t を超え 25t 以下	25t を超え 50t 以下
横取り Qc1	40	39

(1) [略]

4-5-2 [略]

4-6 積込・据付

4-6-1 [略]

4-6-2 作業船の編成人員

各作業船の編成人員は、次表を標準とする。

表 4. 14 クレーン付台船及び非航起重機船編成人員 (人)

高級船員	普通船員
1	2

表 4. 15 引船編成人員 (人) [略]

表 4. 16 潜水士編成人員 (人) [略]

4-6-3 諸雑費

諸雑費は、ブロックの積込・据付作業に必要なワイヤーロープの損料等の費用であり、労務費の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。

表 4. 17 諸雑费率 (%) [略]

4-6-4 [略]

5. [略]

6. 単価表

[新設]

P 2 0 1

(2) 捨石均し 1 m² 当り単価表

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
潜 水 士 船 運 転		日	1 / Q 1	表 3. 3 (7)単価表
計				

(注) [略]

(3) ブロック (実質量〇〇t) 製作 10 個当り単価表 [略]

(4) ブロック (実質量〇〇t) 横取り 10 個当り単価表

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
世 話 役		人	10 / Q c 1 × 1 × D	表 4. 10、表 4. 11
特 殊 作 業 員		〃	10 / Q c 1 × 1 × D	〃
普 通 作 業 員		〃	10 / Q c 1 × 1 × D	〃
クローラクレーン賃料	排出ガス対策型 (第1次基準値) 油圧駆動式ウインチ・ラジジ ブ型低騒音型 100t 吊	日	10 / Q c 1 × D	〃
諸 雑 費		式	1	表 4. 12
計				

(注) [略]

(5) ブロック (実質量〇〇t) 積込・運搬・据付 10 個当り単価表

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
世 話 役		人	10 / Q 2 × 1	表 4. 13
特 殊 作 業 員		〃	10 / Q 2 × 1	〃
普 通 作 業 員		〃	10 / Q 2 × 1	〃
運 転 手 (特 殊)		〃	10 / Q 2 × 1	〃
クレーン付台船運転 又は非航起重機船	旋回式	日	10 / Q 2	(6)単価表又は 機-26
引 船 運 転		〃	10 / Q 2	機-11
潜 水 士 船 運 転		〃	10 / Q 2	(7)単価表 水中設置の場合に計 上
諸 雑 費		式	1	表 4. 17
計				

(注) [略]

P 2 0 2

(6) クレーン付台船運転 1 日当り単価表 [略]

(7) 潜水士船運転 1 日当り単価表 [略]

(8) 繋船費 (クレーン付台船又は機重機船) 一式内訳書 [略]

(9) 繋船費 (引船) 一式内訳書 [略]

(10) 繋船費 (潜水士船) 一式内訳書 [略]

(11) 退避費 (引船) 1 日当り単価表 [略]

P 2 0 3

(12) 回航、えい航運転費 (引船) 1 日当り単価表 [略]

(1) 捨石均し 1 m² 当り単価表

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
潜 水 士 船 運 転		日	1 / Q 1	表 3. 3 (4)単価表
計				

(注) [略]

(2) ブロック (実質量〇〇t) 製作 10 個当り単価表 [略]

(3) ブロック (実質量〇〇t) 横取り 10 個当り単価表

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
世 話 役		人	10 / Q c 1 × 1 × D	表 4. 10、表 4. 11
特 殊 作 業 員		〃	10 / Q c 1 × 1 × D	〃
普 通 作 業 員		〃	10 / Q c 1 × 1 × D	〃
クローラクレーン賃料	[新設] 油圧駆動式ウインチ・ラジジ ブ型低騒音型 100t 吊	日	10 / Q c 1 × D	〃
諸 雑 費		式	1	表 4. 12
計				

(注) [略]

(4) ブロック (実質量〇〇t) 据付 10 個当り単価表

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
世 話 役		人	10 / Q 2 × 1	表 4. 13
特 殊 作 業 員		〃	10 / Q 2 × 1	〃
普 通 作 業 員		〃	10 / Q 2 × 1	〃
運 転 手 (特 殊)		〃	10 / Q 2 × 1	〃
クレーン付台船運転 又は非航起重機船	旋回式	日	10 / Q 2	(5)単価表又は 機-26
引 船 運 転		〃	10 / Q 2	機-11
潜 水 士 船 運 転		〃	10 / Q 2	(6)単価表 水中設置の場合に計 上
諸 雑 費		式	1	表 4. 17
計				

(注) [略]

(5) クレーン付台船運転 1 日当り単価表 [略]

(6) 潜水士船運転 1 日当り単価表 [略]

(7) 繋船費 (クレーン付台船又は機重機船) 一式内訳書 [略]

(8) 繋船費 (引船) 一式内訳書 [略]

(9) 繋船費 (潜水士船) 一式内訳書 [略]

(10) 退避費 (引船) 1 日当り単価表 [略]

(11) 回航、えい航運転費 (引船) 1 日当り単価表 [略]

(13) 機械運転単価表

名 称	規 格	適用単価表	指 定 事 項
起 重 機 船	表 4. 3	機-26	労 務 数 量 →表 4. 14 機 械 損 料 数 量 →1.89 燃 料 消 費 量 100t 吊→372 120t 吊→417 150t 吊→480 主 燃 料 →重油
引 船	表 4. 3	機-11	単 価 表 単 位 →日 船 員 数 量 →表 4. 15 機 械 損 料 単 位 →供用日 機 械 損 料 数 量 →1.89 燃 料 消 費 量 鋼製 450PS 型 35GT→375 鋼製 600PS 型 50GT→500 鋼製 700PS 型 60GT→585 主 燃 料 →重油
交 通 船	鋼製 D 50PS 型 4.9t	機-11	単 価 表 単 位 →日 船 員 数 量 →高級船員 機 械 損 料 単 位 →供用日 機 械 損 料 数 量 →1.66 燃 料 消 費 量 →42 主 燃 料 →重油
クローラクレーン	排出ガス対策型 (第1次基準値) 油圧駆動式ウイン チ・ラチスジブ型 低騒音型 100t 吊	機-27	燃 料 消 費 量 →69

⑤ [略]

(12) 機械運転単価表

名 称	規 格	適用単価表	指 定 事 項
起 重 機 船	表 4. 3	機-26	労 務 数 量 →表 4. 14 機 械 損 料 数 量 →1.89 燃 料 消 費 量 100t 吊→372 120t 吊→417 150t 吊→480 主 燃 料 →重油
引 船	表 4. 3	機-11	単 価 表 単 位 →日 船 員 数 量 →表 4. 15 機 械 損 料 単 位 →供用日 機 械 損 料 数 量 →1.89 燃 料 消 費 量 鋼製 450PS 型 35GT→375 鋼製 600PS 型 50GT→500 鋼製 700PS 型 60GT→585 主 燃 料 →重油
交 通 船	鋼製 4.9t	機-11	単 価 表 単 位 →日 船 員 数 量 →高級船員 機 械 損 料 単 位 →供用日 機 械 損 料 数 量 →1.66 燃 料 消 費 量 →42 主 燃 料 →重油
クローラクレーン	[新設] 油圧駆動式ウイン チ・ラチスジブ型 低騒音型 100t 吊	機-27	燃 料 消 費 量 →78

⑤ [略]